

平成7年4月20日

” こんなにあった 命の水 ”

：区有施設に眠っている地下旧受水槽を防火用水に 公衆浴場の井戸水を飲料水に：

—— 『緊急災害対策点検調査委員会』検討結果まとまる。 ——

豊島区は兵庫県南部地震による大災害の発生を教訓として、庁内に助役（近藤秀夫）を委員長とする『緊急災害対策点検調査委員会』（別紙 設置要綱のとおり）を設置し、1月26日の初会合以来7回の会議を開催し、同区の災害対策事業の見直しを行ってきた。

この度、今後取り組む事業を決定した。項目は次のとおり。

- (1) 情報連絡体制に関する事
- (2) 初期消火体制に関する事
- (3) 避難所の設営に関する事
- (4) 飲料水の供給に関する事
- (5) 備蓄物資に関する事
- (6) 医療救護体制に関する事
- (7) 高齢者等災害弱者への救助体制に関する事
- (8) 区有施設の安全点検に関する事
- (9) その他緊急対策に関する事

計 68件

なお、主な内容は別紙のとおり。

また、委員会の中に防災拠点となる地域防災センターの整備、センターを動かす職員の配備体制等を具体的にまとめるためプロジェクトチームを設置した。

問合せ 防災課